

教誨師連盟だより

No. 49

発行所
(公財)全国教誨師連盟

〒165-0026
東京都中野区新井3-37-2
電話 03-3389-7411
FAX 03-3387-3460
E-mail:zenren@soleil.ocn.ne.jp

公益財団法人全国教誨師連盟理事会における挨拶

法務省矯正局長 小川新二

公益財団法人全国教誨師連盟第一一回理事会の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素から矯正行政へ深い御理解と御支援を賜り、まずは、この場をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。また、連盟の運営につきましても、役員として一方ならぬ御尽力をされておられますことに、心から敬意を表する次第です。

宗教教誨活動は、被收容者・在院者の信教の自由を保障し、宗教的情操及び罪しよう感を涵養するとともに、罪の意識に苦しむ被收容者・在院者の心を救い、さらには、更生の契機を与えることに大いに寄与するところであり、教誨師皆様の活動が、被收容者・在院者の処遇において重要な役割を果たしていくものと考えております。

特に近年、被收容者・在院者の再犯防止と円滑な社会復帰に対する社会の関心が高まっていますが、そのためにも罪の自覚と更生の意欲が不可欠であり、皆様方の働きかけが大きな成果を上げることが強く期待されているところです。

本日の理事会におきましては、多くの重要課題が話し合われるとありますが、その成果が今後の貴連盟の一層の発展に資するものとなりますように願っております。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と御活躍、並びに公益財団法人全国教誨師連盟のますますの御発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

平成二七年二月二七日

＊平成二六年度事業報告

一 教誨師研修会関係

1 第四九回教誨師中央研修会（JKA補助事業）

開催日 平成二六年九月一日～三日

場所 東京都千代田区 法務省地下棟大

会議室

参加者 総数 一〇九名

教誨師九三名・聴講者二名・矯

正施設関係者三名・その他関係者

一名

目的

少年施設に所属し、中央研修会に出席経験のない教誨師を対象に、矯正行政の施策や方向性並びに矯正施設の収容動向等を理解し、また、教誨のあり方等について研究討議を行い、もって教誨実施に必要な広い知識や技能の習得を図り、教誨活動の向上に資する。

基調講演

「少年矯正の現状」

～少年院法改正を踏まえて～

法務省矯正局少年矯正課長

柿崎 伸二氏

記念講演

「最高の出会いが人を変える」

ワンステップスクール伊藤学校

名誉顧問 伊藤 幸弘氏

見学 法務資料展示室

協議会

「私の教誨活動」

総合同会

全国教誨師連盟企画委員 伊佐 榮豊

総合同会補佐

全国教誨師連盟実行委員 海老澤裕之

発題者

月形学園所属教誨師 松岡 瑞翔

茨城農芸学院所属教誨師 唐澤 伝

豊ヶ岡学園所属教誨師 外山 杲見

奈良少年院所属教誨師 松林 俊明

助言者

法務省矯正局少年矯正課補佐官

川島 敦子氏

多摩少年院首席専門官

後藤 信之氏

意見交換

分科会

「教誨のあり方」

～講演・発題を踏まえて～

総合同会

全国教誨師連盟企画委員 伊佐 榮豊

総合同会補佐

全国教誨師連盟実行委員 海老澤裕之

助言者

多摩少年院首席専門官

後藤 信之氏

東京保護観察所管内保護司 八名

班別取りまとめ 少年施設実行委員

全体討議

総合同会

全国教誨師連盟企画委員 伊佐 榮豊

総合同会補佐

全国教誨師連盟実行委員 海老澤裕之

助言者

法務省矯正局少年矯正課補佐官

川島 敦子氏

多摩少年院首席専門官

後藤 信之氏

東京保護観察所管内保護司 八名

各班代表発表 八名

講義

「全国教誨師連盟の組織と教誨師の心得」

全国教誨師連盟理事長 近藤 哲城

成果

今回の中央研修会は、少年施設所属で中央研修会に出席経験のない教誨師五八名を対象に、三日間の研修を行った。全員が参加してよかった、との印象を持つてもらったのは極めて困難であるが、今回いただいた貴重な意見や提言を今後の研修内容企画に生かす必要がある。

特に今回は、少年院法が改正された時期と相俟って、少年矯正課長に講演をいただけたことは誠に時宜を得たものであった。

アンケートを集計して特に感じたことは参加者が、分科会において保護司に参加いただいたことでお互いの活動内容を理解することができ、保護との情報の共有や連携の重要性を確認できたことは大きな収穫であり、また、記念講演においての伊藤講師の寝食を投げ打った貴

2

重な実体験が聞けたことは、少年の健全育成という目標を持つ教誨活動とも共通するものがあり、大いに参考になったことと思料される。

参加した教誨師が研修会を契機に初心を思い起こし、更なる奮起に繋がればと期待するところである。

第五〇回札幌矯正管区教誨師研修大会（JKA補助事業）

開催日 平成二六年六月二四日～二五日

場所 札幌市中央区 札幌全日空ホテル

参加者 総数 一〇七名

教誨師六六名・矯正施設関係者

三四名・その他関係者七名

主題 「いま、教誨に願われていること」

副題 「心に響く教誨をめざして」

目的

人と人のきずなの再構築が求められ、再犯防止が叫ばれている今、被収容者の改善更生を願い、その心に訴えかける教誨を目指す。

記念講演

「いま、教誨に願われていること」

心に響く教誨をめざして

映画監督 崔 洋一氏

基調講演

「いま、教誨に願われていること」

何をやってはならないのか

北海道大学法学部准教授

中島 岳志氏

質疑応答

記念講演者 崔 洋一氏
基調講演者 中島 岳志氏
コーディネーター
札幌矯正管区教誨師連盟副会長
宮本 正尊

成果

第五〇回目の記念大会として、大会主題の「いま、教誨に願われていること」

（副題「心に響く教誨をめざして」）に

基つき、二日間にわたり講演を実施した。

二名の講師による講演は、映画監督、

大学准教授としてのそれぞれの視点から

現代社会における教誨の在り方を示した

ものであり、被収容者の改善更生を願う

教誨師にとつて、今後の教誨の実践にお

いて大変参考になる内容であった。また、

本大会に参加した矯正職員にとつても、

社会から求められている被収容者に対す

る再犯防止指導の実施に当たり、参考に

なるものであった。

3

第五六回仙台矯正管区教誨師研修宮城大会（JKA補助事業）

開催日 平成二六年一〇月一六日～一七日

場所 仙台市宮城野区 仙台サンプラザ

参加者 総数 一三八名

教誨師九〇名・矯正施設関係者

三五名・その他関係者一三名

主題 「いま、教誨に願われていること」

副題 「心に響くやすらぎの宗教教誨」

目的

仙台矯正管区教誨師連盟所属の六県の

教誨師が一堂に会し、矯正施設における被収容者の宗教教誨による教化方策について研修・討議する。

研究討議

討議題「心に響くやすらぎの宗教教誨」

司会

宮城県教誨師会所属教誨師 中村 瑞貴

発表者

青森県教誨師会所属教誨師 照井 大観

秋田県教誨師会所属教誨師 山口 顯辰

福島県教誨師会所属教誨師 足立 光枝

岩手県教誨師会所属教誨師 坂本 広行

発表応援者

青森刑務所上席統括矯正処遇官

櫻 田 英 尚 氏

秋田刑務所上席統括矯正処遇官

保 坂 直 樹 氏

福島刑務支所統括矯正処遇官

熊 谷 順 子 氏

盛岡少年院統括専門官

坂 本 秀 幸 氏

記念講演

「矯正医療の現状について

宮城刑務所の取り組み」

宮城刑務所医務部長

新妻 宏文氏

全体協議会

成果

大会テーマ「いま、教誨に願われていること」に基づいて、研究討議題「心に

響くやすらぎの宗教教誨」を設定し、教

誨を

誨師が各施設において被収容者に対して実践している宗教教誨の具体事例を発表していただき、宗教教誨の在り方を討議・研修したことにより、今後の宗教教誨活動の更なる充実化及び活発化を図ることが出来るものと思われる。

4 第五八回東京矯正管区教誨師研修千葉大会 (JKA補助事業)

開催日 平成二六年六月二三日～二四日

場所 千葉市美浜区 アパホテル&

リゾート東京ベイ幕張

参加者 総数 三二三名

教誨師二〇九名・矯正施設関係者

四九名・その他関係者六五名

主題 「いま、教誨に願われていること」

副題 「求められる教誨をめざして」

目的

千葉県で活動する私たちは、千葉県教誨師会に所属し、県内にある四つの矯正施設(千葉刑務所、市原刑務所、市原学園及び八街少年院)を訪問して、被収容者及び被収容少年の宗教的希望に応え、彼らが改善更生・社会復帰するため援助をするほか、会として外部講師を招へいして互いに研修を行うなど、日々、自己研鑽に励んでいる。

本大会を通じ、将来を担う世代が未来に希望の持てる社会を築き、また、出所・出院者が再犯・再非行しない、誰もが安心して暮らせる安全な社会の実現に資するような教誨活動を目指し、各自の宗教

教誨及び各施設における今後の宗教教誨の在り方を研究討議する。

研究討議

第一次研修会(全体研修会・ビデオ視聴)

発題者

千葉刑務所所属教誨師 山名 義一

千葉刑務所所属教誨師 浅野 玄航

千葉刑務所所属教誨師 影山 教俊

千葉刑務所所属教誨師 保田 研精

市原刑務所・市原学園所属教誨師 石崎 道成

市原刑務所・市原学園所属教誨師 油谷 弘幸

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 石井 照恩

市原刑務所・市原学園所属教誨師 高鍋 隆孝

市原刑務所・市原学園所属教誨師 森 祐哲

八街少年院所属教誨師 福田 照塔

八街少年院所属教誨師 谷 明生

八街少年院所属教誨師 佐川 和浩

第二次研修会(分科会)

・第一研修部会(刑執行開始時の指導、集

合教誨、一般改善指導)

発題者

千葉刑務所所属教誨師 山名 義一

千葉刑務所所属教誨師 浅野 玄航

千葉刑務所所属教誨師 影山 教俊

市原刑務所・市原学園所属教誨師 石崎 道成

市原刑務所・市原学園所属教誨師 油谷 弘幸

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 石井 照恩

市原刑務所・市原学園所属教誨師 高鍋 隆孝

市原刑務所・市原学園所属教誨師 森 祐哲

八街少年院所属教誨師 福田 照塔

八街少年院所属教誨師 谷 明生

八街少年院所属教誨師 佐川 和浩

千葉刑務所所属教誨師 保田 研精

千葉刑務所所属教誨師 宮崎 栄樹

千葉刑務所所属教誨師 小熊 啓之

千葉刑務所所属教誨師 植竹 徳道

千葉刑務所統括矯正処遇官 土橋 孝爾氏

第二研修部会(刑執行開始時の指導)

発題者

市原刑務所・市原学園所属教誨師 石崎 道成

市原刑務所・市原学園所属教誨師 油谷 弘幸

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 吉田 晴雄

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

副座長

市原刑務所・市原学園所属教誨師 吉田 晴雄

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 山内恵一朗

市原刑務所・市原学園所属教誨師 高鍋 隆孝

座長

森 祐哲

市原学園所属教誨師 半田 照匡

副座長

市原学園所属教誨師 時田 克男

助言者

市原学園首席専門官

庄司 学 氏

・第四研修部会（個別教誨、集合教誨）

発題者

八街少年院所属教誨師 福田 照塔

八街少年院所属教誨師 谷 明生

八街少年院所属教誨師 佐川 和浩

座長

八街少年院所属教誨師 加瀬 堯正

副座長

八街少年院所属教誨師 長島 成幸

助言者

八街少年院首席専門官

山下 嘉一 氏

成 果

本大会では、第一日目に、千葉県下四つの矯正施設に所属する一三名の教誨師が、発題者として実際の教誨場面を録画した「教誨実演ビデオ」を参加者に放映した。

第二日目は、前日に視聴したビデオを基に、発題者が所属する四つの施設に分かれ、研究討議を行った。現在、矯正施

設では、「再犯防止に向けた総合対策」に基づき、再入率の減少に係る数値目標の達成に向けて、改善指導や矯正教育の強化、社会復帰支援の充実など様々な施策を積極的に推進しており、私たち教誨師は、矯正施設における日々の教誨活動を通して、施設職員では果たせない「こころ」の分野を支えながら、被収容者・被収容少年の改善更生と一日も早い社会復帰を願いながら教誨を実施しています。

本大会のサブテーマである「求められる教誨を目指して」にあるように、被収容者・被収容少年、施設職員はもとより、彼らの社会復帰を一日千秋の思いで待ち続けている御家族、また、彼らの真の改善更生を強く望んでいる被害者やその御遺族からも「求められる教誨」を実現できよう教誨活動の一層の充実に向けて尽力することを、教誨師としての新たな使命感として再認識した。

5 第三五回全国教誨師大会（第五八回名古屋矯正管区教誨師研修大会併催）（JKA補助事業）

開催日 平成二六年六月一八日～一九日

場 所 名古屋市区 ウェスティンナゴ

ヤキャッスルホテル

参加者 総数 五七六名

教誨師四九九名・矯正施設関係者

六〇名・その他一七名

主 題 「いま、教誨に願われていること」

副 題 「～教誨の原点を問う～」

目 的

価値観の多様化が当然となった今日、近代宗教教誨発祥の地であるここ愛知において、改めて教誨の原点を問い直し、公益的な視点に立って現代に即応する教誨を模索する。

基調講演

「矯正の現状について」

法務省矯正局長 西田 博 氏

記念講演

「夜回り先生、いのちの授業」

教育評論家 水谷 修 氏

研修会

「いま、教誨の原点を考える」

～刑法学者である一宗教者として～

中京大学法学部教授

平川 宗 信 氏

成 果

法務省矯正局長の講演は、「矯正の現状について」と題し、全国の被収容者総数は減少傾向にあるものの、過剰収容対策（PFI施設の新設など）はある程度収束に向かっているものの、女子受刑者及び高齢受刑者の収容数が増加傾向にあることから、これらの者を収容する施設においては、職員負担は軽減されていないということであった。また、近年は、再犯防止のための取組が社会的ニーズとして高まりを見せており、平成二四年七月の犯罪対策閣僚会議において、「出所

後二年以内に再び刑務所に入所する者の割合を今後一〇年間で二〇パーセント以上減少させる」という数値目標が設定されたことから、改善指導などの教育の更なる充実化や社会復帰後の関係機関との連携を強化し、受刑者の社会復帰支援を強化する取組を進めているとのことであった。宗教教誨を通して、受刑者が自己と向き合い、再犯を犯さない心を育てる一助となればという思いを強くした。

教育評論家の記念講演においては、講師がこれまで取り組んでこられた活動についての講演があり、「あなた方は昼の世界の人間、僕は夜の世界の人間」という言葉が印象的であった。夜回りや電話又はメールによる相談において、相手に寄り添い、献身的に向きあう姿は、今後の教誨活動に参考となるものであった。

刑事法研究者による講演では、刑事施設の長い歴史の中で、宗教教誨がどのような役割を果たしてきたのか、今後はどのような役割を果たせばよいのかについて、法律的な側面と宗教的な側面の両方からの話を聞くことができ大変参考になった。また、講演の最後で触れられた死刑囚とのかかわりについては、教誨師として避けて通れないものであり、教誨活動のあり方について考えを深めることができた。

6 第六二回大阪矯正管区教誨師研修大会

開催日 平成二六年一月一八日

場所 京都市下京区 京都東急ホテル
参加者 総数 二四八名
教誨師一五八名・矯正施設関係者
七四名・その他一六名

主題 「いま、教誨に願われていること」
副題 「人は縁によって生まれ変わる」
目的

教誨師活動の研鑽と充実をめざして
基調講演

「二度生まれについて」

東京大学名誉教授

姜 尚 中 氏

体験発表

姫路少年刑務所所属教誨師 上村 元正

滋賀刑務所所属教誨師 安部 隆瑞

神戸拘置所所属教誨師 高見 寛信

京都刑務所所属教誨師 土井 克彦

成果(アンケート結果により検証)

・講演について

姜 尚中氏が「二度生まれについて」という演題で「あわれみの心」を持つこと

との大切さ等について講じ、以下のような感想が寄せられた。

ア 現在の時代背景(受容力のない地域社会、なんとなく生きていく若者が多くなっている)が再確認でき、これからの教誨に臨む視野が広がった。

イ 講演は示唆に富む提言があり、大いに参考になった。

・体験発表について

四名の教誨師がメインテーマ「いま、

教誨に願われていること」、サブテーマ「人は縁によって生まれ変わる」のいずれかのテーマに基づいて体験発表を実施し、以下のような感想が寄せられた。

ア 初心にかえることのできる良い企画だと思います。
イ 教誨師の先生方の経験談が具体的に参考になった。

・研修大会全体を通して

ア 意欲的に教誨に取り組む指針になった。

イ 一堂に集まることにより温かい雰囲気

気が生まれて一層の努力の心が生まれた。

・研修会の課題等

ア 講演の人選については来年度も著名人をお願いしたい。

イ 各プログラムの時間的配分にももう少し余裕をもって構成した方がよい。

ウ 講演については、質疑応答の時間を設定してもらいたかった。

エ 式典表彰がもう少し簡素になった方がよいと思う。

などが意見として寄せられた。

7 第四一回広島矯正管区教誨師研修大会(Ｊ

ＫＡ補助事業)

開催日 平成二六年六月二六日～二七日

場所 松江市 松江東急イン

参加者 総数 一一〇名

教誨師六九名・矯正施設関係者

四七名・その他関係者四名

主 題 「いま、教誨に願われていること」
副 題 「つなげよう心と心、描こうみんなの笑顔」

目 的

広島矯正管区の教誨師として、教誨活動を実施する上で研修会を通して、共通認識としての教養を追求し、理解することと教誨に期待される実践的教誨活動に生かすことを目的とする。

基調講演

「矯正の現状」

広島矯正管区長 小林 泉氏
特別講演

「銀・銅・鉄メダル

—先人の遺産をどう生かす—」

松江市政策部広報専門監

松本 英史氏

記念講演

「心と心をひとつに

—大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷

事件の教訓—」

J A 山口厚生連メンタルヘルス対策室長

坂井 讓氏

成 果

広島矯正管区内の教誨師や関係職員が一同に研修テーマである「いま、教誨に願われていること」、副題「つなげよう心と心、描こうみんなの笑顔」に沿った研修を受けることで、共通した情報、教養を共有し、教誨の求めるべき姿やその責務について考え、今後の教誨活

8

動に備えることができた貴重な二日間であった。

平成二六年度高松矯正管区教誨師研修会
(JKA補助事業)

開催日 平成二六年七月一七日

場 所 高松市 高松センタービル

参加者 総数 五八名

教誨師三二名・矯正施設関係者

二六名

主 題 「いま、教誨に願われていること」

副 題 「—共鳴する教誨をめざして—」

目 的

矯正施設における宗教教誨の充実を図るために、比較的经验年数の少ない教誨師を対象として研修を行う。

講 演

「矯正の現状と将来像について」

「次の一〇年」に向けた取組を中心として」

高松矯正管区長 重松 弘氏

実践発表会

・「収容者の教誨師への期待」

発表者

松山刑務所所属教誨師 門田 和明

発表応援者

松山刑務所統括矯正処遇官

小西 隆雄氏

・「被収容者と共に」

発表者

高松刑務所所属教誨師 北嶋真二郎

発表応援者

高松刑務所首席矯正処遇官

真田 博 且氏

・「過去から学べること。」

発表者

松山学園所属教誨師 二神 瑞隆

発表応援者

松山学園統括専門官

鈴木 範 保氏

成 果

高松矯正管区長による講演は、矯正施設の実情について理解を深めることができ、今後の教誨活動にとって有益な内容であった。

また、実践発表は、経験豊かな教誨師三名が自らの教誨実践を発表したが、いずれもこれまでの教誨実践をとおしての経験や苦労している点、工夫している点など、誠実かつ熱心な発表であり、経験年数の少ない教誨師の模範となる発表であり、経験豊かな教誨師にとっても、自己の宗教教誨を見つめ直すよい機会となった。

9

第一九回福岡矯正管区教誨師長崎施設研修会 (JKA補助事業)

開催日 平成二六年一月一九日〜二〇日

場 所 諫早市 諫早観光ホテル道具屋

参加者 総数 一三〇名

教誨師九六名・矯正施設関係者

三三名・その他一名

主 題 「いま、教誨に願われていること」

副 題 「ふたたび罪を犯させないために」

目的

平成二四年七月、政府による刑務所出所者等の再犯防止に向けた総合対策として、犯罪対策閣僚会議で「再犯防止に向けた総合対策」が決定され、刑務所出所後二年以内に再び刑務所に入所する者等の割合を今後一〇年間で二〇%以上削減する数値目標が掲げられた。

こうした政府の取り組みを受けて我々教誨師も、再犯者の増加に対する認識を一層深め、再犯しない生き方を促すことを念頭に教誨に臨む必要がある。

そこで、今回の施設研修は、長崎刑務所における成人矯正の現状（及び再犯の現状と課題）、加えて再犯防止に向けた更生保護施設の取り組みを学び、今後の教誨活動に資することを目的として開催する。

第一日目

講演

「新少年院法及び少年鑑別所法における概要について」

福岡矯正管区第三部長

山口 孝志 氏

「長崎刑務所の現況」

長崎刑務所長 西村 信明 氏

第二日目

講演

「人間性（恩愛の情）を通して」

長崎刑務所所属教誨師 山口 俊雄

「更生保護施設 雲仙・虹の取組について」

更生保護施設 雲仙・虹施設長

前田 康弘 氏

成果

一番の成果は、長崎刑務所教誨師会と長崎刑務所職員の結びつきが強くなり、教誨活動を筆頭に官民一体のより良い関係構築に繋げることができたことである。また、研修テーマにおいても、再犯防止という、国民が強い関心を持っている内容を中心に展開することができた。

長崎刑務所が先進的に取り組みつつある高齢・知的障害受刑者の処遇と深い結びつきのある、更生保護施設雲仙・虹の前田施設長をゲストスピーカーとして招致したり、これからの教誨のあり方などについて意見を交わすことができ、有意義な研修会であったと思慮される。

二 連絡調整関係

1 宗団代表者との連絡協議会

開催日 平成二六年七月二八日

場所 京都府京都市 西本願寺 伝道本

部二階研修室一

出席者 総数 三九名

宗団代表者 一七宗団 二一名

全国教誨師連盟 一八名

議事

ア 報告事項

○理事長の交代について

○平成二五年度事業報告及び収支決算

報告

○平成二六年度事業計画及び収支予算について

○第四九回教誨師中央研修会について

○平成二五年度宗団賛助金収納状況について

協議事項

イ 協議事項

○教誨師の推薦基準について

○その他当面の諸問題について

ウ 教宗団内における研修状況等について

て

2 第一五回在京教宗団代表者との懇談会

開催日 平成二六年一〇月一七日

場所 東京都港区 浄土宗大本山増上寺

「松杉の間」

出席者 総数 三二名

宗団代表者 一〇宗団 二一名

全国教誨師連盟 一一名

話題

ア 事業報告について

イ 全国教誨師連盟の動向について

ウ 各教宗団の近況報告

エ その他

3 第二回法務省矯正局との意見交換会

開催日 平成二六年一二月一七日

場所 東京都千代田区 矯正局会議室

出席者 総数 一九名

法務省矯正局 一〇名

全国教誨師連盟 九名

話題

ア 委員等旅費の使用範囲の改善及び拡

充について

イ 教誨師の活動環境の充実について
ウ その他

三 顕彰関係

生存者叙勲

五名

藍綬褒章

一三名

全国教誨師連盟総裁表彰

二一名

法務大臣感謝状

二五名

日本宗教連盟理事長感謝状

一二名

の方々が表彰されました。御芳名は別掲のとおりです。

四 各種刊行物等の発行

1 教誨師第九号「教誨師中央研修会記録」

平成二七年二月に発行し、会員及び関係機関に配布。国立国会図書館に納入。

2 教誨師連盟だよりNo.四七・四八号

平成二六年七月及び一二月に発行し、会員及び関係機関に配布。

3 研修会の記録CD（平成二五年度分）

平成二六年九月に発行し、管区連盟等に配布。国立国会図書館に納入。

2 企画実行委員会

開催日 平成二六年七月一七日

場所 東京都千代田区 法務省会議室

出席者 総数 三一名

議事

・第四九回教誨師中央研修会の役割分担

3 中央研修会協議会の打ち合わせ会

開催日 平成二六年八月八日

場所 東京都中野区 矯正会館会議室

出席者 総数 一〇名

議事

・中央研修会協議会の運営について

4 評価委員会

開催日 平成二六年九月五日

場所 東京都千代田区 法務省会議室

出席者 総数 五名

議事

・第四九回教誨師中央研修会の第一回目評価

5 評価委員会

開催日 平成二七年三月一七日

場所 東京都中野区 矯正会館会議室

出席者 総数 六名

議事

・第四九回教誨師中央研修会の第二回目評価

6 企画委員会

開催日 平成二六年四月一八日

場所 東京都千代田区 法務省会議室

出席者 総数 一四名

議事

・第四九回教誨師中央研修会の目的・対象者・研修カリキュラム

議事

・これまでの審議内容の再確認

・執筆者について

・歴史・年表の内容について

・その他追加項目

・執筆依頼について

(2) 第一〇回 平成二六年五月一九日

場所 東京都中野区 矯正会館四階会議室

出席者 総数 一四名

議事

・全体構成について

・用語解説について

・コラムについて

・執筆依頼について

(3) 第一一回 平成二六年七月三〇日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会議室

出席者 総数 一三名

議事

・執筆者への口頭依頼について

・依頼文の作成について

・マニュアルを読みやすくする工夫について

・各宗派の取り組みについて

・『事例集』について

・『事例集』について

・『事例集』について

・『事例集』について

(4) 第一二回 平成二六年九月一〇日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会議室

出席者 総数 一三名

議事

議事

・執筆依頼状について

・その他

(5) 第一三回 平成二六年一月一〇日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 総数 一二名

議事

・資料編(各種統計)について

・コラムについて

・年表について

・各教宗派あての依頼文について

・原稿料について

(6) 第一四回 平成二七年一月二六日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 総数 一三名

議事

・教誨年表について

・コラムについて

・各教宗派あて依頼文について

(7) 第一五回 平成二七年三月四日

場所 東京都中野区 矯正会館第二会

議室

出席者 総数 一四名

議事

・年表について

・提出原稿について

主要会議

1 第七回理事会(常会)

日時 平成二六年五月一五日

場所 東京都中野区 矯正会館四階第一

会議室

出席者 総数 二〇名

出席理事一三名・監事二名・参与

一名・事務局二名・オブザーバー

(矯正局) 二名

議事

第一号議案 『平成二五年度事業報告及び

附属明細書の承認』の件(承認事項)

第二号議案 『平成二五年度計算書類(貸

借対照表及び正味財産増減計算書)及び

附属明細書並びに財産目録の承認』の件

(承認事項)

第三号議案 『評議員会の日時及び場所並

びに目的である事項等』の件(決議事項)

第四号議案 『賛助寄附金の募金』の件(決

議事項)

報告事項

①平成二五年度の寄附募金結果について

②JKAからの補助金について

③その他

2 第三回評議員会

日時 平成二六年六月三日

場所 東京都千代田区 法曹会館

出席者 総数 二七名

出席評議員数一七名

欠席評議員数一〇名

その他の出席者

理事長一名・副理事長三名・監事

二名・参与一名・事務局二名・オ

ブザーバー(矯正局)一名

議事

第一号議案 『平成二五年度事業報告及び

附属明細書の承認』の件(決議事項)

第二号議案 『平成二五年度計算書類及び

附属明細書並びに財産目録の承認』の件

(決議事項)

第三号議案 『役員等の選任・解任』の件

(決議事項)

報告事項

①平成二六年度事業計画について

②諸規程の制定について

③中央研修会について

④JKAからの補助金について

3 第八回理事会(臨時会)

日時 平成二六年六月一〇日

場所 東京都中野区 矯正会館四階第一

会議室

出席者 総数 一八名

出席理事一三名・欠席理事一名・

監事二名・参与一名・事務局二名

議事

第一号議案 代表理事たる理事長の選任に

ついて

第二号議案 執行理事たる副理事長の選任

について

報告事項

①評議員会の開催状況について

②その他について

✳ 平成二六年度管理業務関係報告

一 会議関係

4 第九回理事会(臨時会)

日時 平成二六年七月二八日

場所 京都府京都市 西本願寺伝道本部
三階会議室六

出席者 総数 二二名

西本願寺

大谷総裁

園城総長・桑羽総務・楠社会部長

教誨師連盟

理事長一名・副理事長四名・参与一名・理事八名・監事二名・事務局二名

議事(報告事項)

①理事長就任にあたって

②副理事長の職務分担について

③広報委員会の委員推薦について

④その他

5 第一〇回理事会(臨時会)

日時 平成二六年一〇月三〇日

場所 東京都中野区 矯正会館四階第一
会議室

出席者 総数 一六名

出席理事二一名・欠席理事三名・監事一名・参与二名・事務局二名

議事

第一号議案 評議員会運営規則の一部改正

(案) ついて

第二号議案 評議員会の招集について

報告事項

①個人賛助金について

②その他

6 第四回評議員会(臨時会)

日時 平成二六年十一月一日

場所 東京都中野区 中野サンプラザ七
階研修室一〇

出席者 総数 二四名

出席評議員数一五名

欠席評議員数二二名

その他の出席者

理事長一名・副理事長三名・監事一名・参与二名・事務局二名

議事

第一号議案 『評議員会運営規則の一部改正』の件(決議事項)

7 第一一回理事会(常会)

日時 平成二七年二月二七日

場所 東京都千代田区 法務省地下棟大
会議室

出席者 総数 二六名

出席理事二二名・欠席理事二名

監事二名・参与一名・事務局二名
矯正局 小川局長 以下九名

決議事項

①『平成二七年度事業計画書及び収支予算書の承認』の件

②『諸規程の改正』の件

報告事項

①賛助寄附金を募集することについて

②教誨師マニユアル準備委員会に関する中間報告について

③教誨師研修全国大会・地方大会に関する

報告

④代表理事・執行理事からの業務報告

⑤その他

その他の会議

1 監事会

日時 平成二六年四月二三日

場所 東京都中野区 矯正会館四階第一
会議室

出席者 総数 四名

中川文隆監事・楨研治監事
平野理事長・龍田事務長

議事

2 総裁への業務報告
・平成二五年度収支決算等及び業務の監査

日時 平成二六年六月一三日

場所 京都府京都市 西本願寺
出席者 総数 六名

大谷総裁・桑羽西本願寺総務・楠
西本願寺社会部長
平野参与・近藤理事長・龍田事務
長

主な報告事項

・理事長就任・離任あいさつ

・平成二六年度事業計画及び収支予算書に
ついて

・平成二五年度事業報告及び収支計算書に
ついて

3 管区連盟事務局長会議

日時 平成二七年二月九日

場所 東京都中野区 矯正会館四階第一

会議室

出席者 総数 一四名

近藤理事長

舎奈田・深山・石川副理事長

札幌管区連盟 天野広輝

仙台管区連盟 徳力賢隆

東京管区連盟 中川文隆

名古屋管区連盟 楠原純孝

(副会長)

大阪管区連盟 松林俊明

広島管区連盟 山根眞三

高松管区連盟 田村正教

福岡管区連盟 川崎文丸

事務局 龍田恒夫・仲澤芳典

連絡・協議事項

・賛助寄附金の募金について

・全国教誨師連盟の役員等の交代事務手続きについて

・研修会の開催状況について

・JKAの補助金について

・その他

研修会関係費用について

会議等の日程について

研修会の日程について

4 正・副理事長会議

(1) 第一三回 平成二六年四月一八日

場所 東京都千代田区 法務省矯正局

出席者 六名

(2) 第一四回 平成二六年六月一〇日

場所 東京都中野区 矯正会館

出席者 八名

(3) 第一五回 平成二六年七月一七日

場所 東京都千代田区 法務省矯正局

出席者 六名

(4) 第一六回 平成二六年八月八日

場所 東京都中野区 矯正会館

出席者 六名

(5) 第一七回 平成二六年九月二日

場所 東京都千代田区 法務省地下棟

大会議室会議控室

出席者 八名

(6) 第一八回 平成二六年一〇月三〇日

場所 東京都中野区 矯正会館

出席者 七名

(7) 第一九回 平成二七年二月九日

場所 東京都中野区 矯正会館

出席者 六名

(8) 第二〇回 平成二七年二月二〇日

場所 東京都中野区 矯正会館

出席者 六名

(9) 第二一回 平成二七年二月二七日

場所 東京都千代田区 法務省地下棟

大会議室

出席者 六名

二 各種行事等への出席等

1 平成二六年五月一六日 平野理事長が法務省大会議室で行われた、春の褒章伝達式に

参列した。

2 平成二六年五月二六日 龍田事務長、仲

澤主事が、名古屋管区で行われた名古屋矯正

管区教誨師連盟理事会(全国大会打ち合わせ

会)に列席した。

3 平成二六年七月三十一日 龍田事務長、仲

澤主事が、府中刑務所において行われた創立

六〇周年記念大会打ち合わせ会に出席した。

4 平成二六年九月一日 近藤理事長、龍

田事務長が日本経団連、経済同友会、東京商

工会議所に赴き、寄附募金の協力を依頼した。

5 平成二六年一〇月一六日 石川副理事長、

龍田事務長が、仙台サンプラザで行われた、

仙台矯正管区教誨師連盟理事会に列席し、個

人賛助金について説明を行った。

6 平成二六年一〇月一七日 近藤理事長が

仏教伝道センタービルで行われた、仏教伝道

文化賞贈呈式に参列した。

7 平成二六年一〇月二一日 近藤理事長が

法務省大会議室で行われた、全国篤志面接委

員大会に参列した。

8 平成二六年一〇月二三日 近藤理事長が

京都で行われた、浄土真宗本願寺派教誨師・

篤志面接委員全国研修大会に参列した。

9 平成二六年十一月四日 近藤理事長が

法務省大会議室で行われた、秋の褒章伝達式

に参列した。

10 平成二六年十一月二四日 石川副理事長、

仲澤主事が真宗大谷派報恩講に参拝した。

11 平成二六年十一月二七日 平野参与、仲

澤主事が東京矯正管区教誨師連盟新任研修会

に参列した。

12 平成二七年一月六日 近藤理事長、舎奈

田副理事長、龍田事務長が矯正協会賀詞交換

会に出席した。

13 平成二十七年一月七日 近藤理事長、舎奈田副理事長、深山副理事長、龍田事務長が寄附募金活動の一環として経団連等へ新年あいさつ回りを行った。

14 平成二十七年一月二日 近藤理事長、龍田事務長が浄土真宗本願寺派報恩講に参拝した。

15 平成二十七年一月二日 龍田事務長が、府中刑務所において行われた創立六〇周年記念大会打ち合わせ会に出席した。

16 平成二十七年二月一〇日 近藤理事長、舎奈田副理事長が、内閣総理大臣官邸で開かれた「社会を明るくする運動中央推進委員会」に出席した。

三 公益財団法人JKAの競輪公益資金補助事業

関係

1 平成二六年四月一日 平成二六年度分補助金額内示 三、三六六、〇〇〇円

2 平成二六年五月一日 平成二六年度分補助金交付申請書提出 三、三六六、〇〇〇円

3 平成二六年五月二〇日 平成二六年度分補助金交付決定通知 三、三六六、〇〇〇円

4 平成二六年九月二日 平成二七年度分補助金要望書提出 一四、七八八、〇〇〇円

5 平成二六年一〇月一〇日 平成二六年度事業の状況に関する報告書提出

6 平成二六年一二月二日 平成二六年度分補助金精算払申請書提出

7 平成二七年一月八日 平成二六年度分補助金 三、三六六、〇〇〇円

助金の入金 三、三六六、〇〇〇円
8 平成二十七年一月九日 平成二六年度分補助事業の完了報告書提出

四 その他

1 平成二六年六月六日 内閣府に「理事、評議員の辞任に伴う変更届」を電子申請により提出した。

2 平成二六年六月二七日 内閣府に平成二五年度分の「事業報告等に係る提出書」を電子申請により提出した。

3 平成二六年七月七日 内閣府に「理事の任期満了及び監事、評議員の辞任に伴う変更届」を電子申請により提出した。

4 平成二七年三月一九日 内閣府に平成二七年度分の「事業計画等に係る提出書」を電子申請により提出した。

✳ 平成二六年度受賞者御芳名

✳ 生存者叙勲(五名)

高橋 初生 日本基督教団 神戸拘置所
平野 俊興 浄土真宗本願寺派 東京拘置所
五十嵐紀典 曹 洞 宗 新潟刑務所
井上 廣 天 理 教 京都医療少年院
宗元 諦栄 浄土真宗本願寺派 鳥取刑務所
※平野俊興師は瑞宝小綬章、他は瑞宝双光章

✳ 藍綬褒章(二三名)

東 義真 高野山真言宗 網走刑務所
澤田 勇 日本基督教団 京都刑務所

高木 慈興 日 蓮 宗 岐阜刑務所
中泉 俊堯 曹 洞 宗 秋田刑務所
丸岡 了信 浄土真宗本願寺派 姫路少年刑務所
横田 満朗 日本基督教団

喜連川社会復帰促進センター

吉木 祥徳 日 蓮 宗 山口刑務所
大窪 順子 カトリック 瀬戸少年院
岸 康之 浄土真宗本願寺派 岩国刑務所
藤榮 行信 浄土真宗本願寺派 加古川刑務所
森 恵司 日 蓮 宗 福井刑務所
谷津 良勝 カトリック

喜連川社会復帰促進センター

山口 道雄 天 台 宗 函館少年刑務所
宮本 正尊 真宗大谷派 北海少年院
紫明女子学院

✳ 全国教誨師連盟総裁表彰(二一名)

山口 顯辰 日 蓮 宗 秋田刑務所
成田 了恵 浄土真宗本願寺派 川越少年刑務所
長田 善生 浄 土 宗 喜連川少年院
服部 秀世 曹 洞 宗 静岡刑務所
山名 義一 浄土真宗本願寺派 千葉刑務所
小島 不二 真言宗智山派 新潟刑務所
河合 了栄 高野山真言宗 笠松刑務所
橋本 徳倫 曹 洞 宗 富山刑務所
林 精應 真宗三門徒派 福井刑務所
加藤 賈裕 日 蓮 宗 大阪医療刑務所
田淵 明男 天 理 教 京都刑務所
蘆田 恵岳 日 蓮 宗 和歌山刑務所
三谷 正美 天 理 教 鳥取刑務所
佐藤 元宣 高野山真言宗 広島拘置所

南 尚浩 在日大韓基督教会 岡山刑務所
 追野 忠次 天理教 山口刑務所
 前田 建司 大 美保学園
 豊田 尚臣 カトリック 広島少年院
 高橋 嘉道 曹洞宗 熊本刑務所
 難波 光裕 浄土真宗本願寺派 福岡刑務所

※法務大臣感謝状(二五名)

石川 厚信 浄土宗 札幌刑務所
 柏川 法潤 浄土真宗本願寺派 旭川刑務所
 岡 撰也 ウェスレアン・ホーリネス教団

英 元弘 曹洞宗 山形刑務所
 和田 大雅 真言宗御室派 横濱刑務所
 寺内 照恒 真言宗智山派 府中刑務所
 遠藤 了義 日蓮宗 千葉刑務所
 三澤 宥智 真言宗智山派 松本少年刑務所
 時田 克男 神社本庁 市原刑務所
 橋立 秀文 曹洞宗 栃木刑務所
 濱口 義昭 天理教 宮川医療少年院
 野村 潔 日本聖公会 名古屋拘置所
 公文名 眞 浄土真宗本願寺派 富山刑務所
 松本 武三 カトリック 大阪拘置所
 藤井 亮俊 天台宗 神戸刑務所
 後藤 進 カトリック

播磨社会復帰促進センター

本川 英暁 浄土真宗本願寺派 神戸拘置所
 大北 哲也 高野山真言宗 松江刑務所
 杉山日出男 大 本 広島刑務所
 桑羽 隆慈 浄土真宗本願寺派

美祿社会復帰促進センター

沖村 吟峰 臨濟宗天龍寺派 岩国刑務所
 清原 修 元日本伝道隊 徳島刑務所
 道願光三郎 金光教 高知刑務所
 田中 英康 日蓮宗 佐賀少年刑務所
 砂野 元道 金光教 福岡少年院

※日本宗教連盟理事長感謝状(二二名)

東 義真 高野山真言宗 網走刑務所
 石川 厚信 浄土宗 札幌刑務所
 金平 祖隆 曹洞宗 福島刑務所
 岸 實瑩 浄土真宗本願寺派 山形刑務所
 生野 隆彦 日本基督教団 横須賀刑務支所
 川越 恒豊 曹洞宗 富山刑務所
 石川 宣 真宗大谷派 愛知少年院
 朝倉 俊次 真宗大谷派 京都刑務所
 日置 泰應 天台宗 大阪拘置所
 原 眞章 高野山真言宗 岡山少年院
 門田 和明 真言宗豊山派 松山刑務所
 白山 大慧 浄土真宗本願寺派 福岡少年院

※平成二六年度物故者御芳名

謹んで哀悼の意を表します。

井上 薫 真宗大谷派 置賜学院
 伊藤 尚典 真宗大谷派 滋賀刑務所
 才木 博 金光教 神戸刑務所
 大島 浄照 浄土宗 福島刑務所
 江口 隆泰 浄土宗西山禅林寺派
 京都刑務所
 京都拘置所

大河内智見 真宗大谷派 豊橋刑務支所
 本田 行憲 浄土宗 島根あさひ社会復帰促進センター

藤澤 覺樹 浄土真宗本願寺派 京都拘置所
 本宮 善雄 法華宗陣門流 富山刑務所
 玉井 覺昭 真宗大谷派 北海少年院
 紫明女子学院

林 重徳 神社本庁 徳島刑務所
 酒生 文彦 浄土真宗本願寺派 福井刑務所
 黒木 安信 ウェスレアン・ホーリネス教団
 河合 智證 天台眞盛宗 東京拘置所
 全国教誨師連盟に報告のあった一四名の方について掲載しました。

※平成二六年度寄付者御芳名

(企業団体関係)
 公益財団法人 仏教伝道協会 様 金壹百萬円也
 公益財団法人 矯正協会 様 金壹百萬円也
 公益財団法人 矯正協会 様 金壹百萬円也
 石油連盟 様 金壹拾五萬円也
 一般社団法人 全国銀行協会 様
 一般社団法人 日本建設業連合会 様 金壹拾萬円也
 一般社団法人 全国地方銀行協会 様
 日本証券業協会 様 金五萬円也
 日本鉱業協会 様 金五萬円也
 一般社団法人 信託協会 様 金式萬円也

一般社団法人 日本貿易会 様

金壹拾八萬円也

株式会社 東京都民銀行 様

金參萬円也

熊本県 金光教山鹿教会真報会 様

岩手県 前川カツエ 様 金五万円也

興 和株式会社 様

金壹萬円也

株式会社 三井住友銀行 様

金參萬円也

岩手県 中村キヨ 様 金五万円也

阪和興業株式会社 様

金壹萬円也

大崎電気工業株式会社 様

金參萬円也

岩手県 吉本昌弘 様 金五万円也

三菱商事株式会社 様

金壹萬円也

住友林業株式会社 様

金參萬円也

高知県 中山研心 様 金五万円也

岩谷産業株式会社 様

金壹萬円也

株式会社 資生堂 様

金參萬円也

高知県 黒木報源 様 金五万円也

住友商事株式会社 様

金壹萬円也

三井金属鉱業株式会社 様

金參萬円也

宮崎県 加藤尚史 様 金五万円也

丸 紅株式会社 様

金壹萬円也

株式会社 三越伊勢丹ホールディングス 様

金參萬円也

熊本県 鹿兒島県 岩室道人 様 金五万円也

長瀬産業株式会社 様

金壹萬円也

株式会社 伊藤園 様

金參萬円也

熊本県 鹿兒島県 高木良章 様 金五万円也

日鉄住金物産株式会社 様

金壹萬円也

三菱商事株式会社 様

金參萬円也

熊本県 鹿兒島県 芥川隆浄 様 金五万円也

CBC株式会社 様

金壹萬円也

株式会社 ジェイティービー 様

金參萬円也

熊本県 山本のり子 様 金五万円也

伊藤忠商事株式会社 様

金壹萬円也

本田技研工業株式会社 様

金參萬円也

熊本県 金 聖孝 様 金五万円也

兼 松株式会社 様

金壹萬円也

旭化成株式会社 様

金參萬円也

熊本県 菊川博子 様 金五万円也

双 日株式会社 様

金壹萬円也

株式会社 日立ハイテクノロジーズ 様

金參萬円也

氏名掲載不希望者二三名 金九萬貳千円也

JFE商事株式会社 様

金壹萬円也

その他(瑞宝小綬章受章記念)

平野 俊興 様 金參拾萬円也

豊田通商株式会社 様

金壹萬円也

(個人賛助金)

東京都 舍奈田経夫 様 金五萬円也

稲畑産業株式会社 様

金壹萬円也

東京都 舍奈田経夫 様 金五萬円也

蝶 理株式会社 様

金壹萬円也

東京都 小林哲朗 様 金五萬円也

三井物産株式会社 様

金壹萬円也

東京都 前田國朝 様 金參萬円也

一般社団法人 日本電機工業会 様

金壹拾六萬円也

千葉県 近藤哲城 様 金貳萬円也

パナソニック株式会社 様

金五萬円也

千葉県 島田智肇 様 金壹萬円也

三菱電機株式会社 様

金五萬円也

神奈川県 徳田隆二 様 金壹萬円也

富士電機株式会社 様

金參萬円也

静岡県 服部秀世 様 金壹萬円也

株式会社 東 芝 様

金參萬円也

静岡県 後藤宗理 様 金壹萬円也

日本製薬団体連合会 様

金五萬円也

静岡県 若山久夫 様 金壹萬円也

大塚製薬株式会社 様

金五萬円也

愛知県 水野義一 様 金壹萬円也

東京商工会議所 様

金參拾九萬円也

愛知県 櫻井宥祥 様 金壹萬円也

東 映株式会社 様

金參萬円也

鳥取県 櫻井宥祥 様 金壹萬円也

★平成二七年度事業計画

一 教誨師研修事業

教誨師及び教誨師になろうとする宗教家を対象とし、教誨活動を充実発展させるために教誨師として必要な幅広い知識の蓄積と教誨技術の習得、向上を図るため、全ての教誨師等が均しく研修会に参加できるように中央研修会を行うとともに各矯正管区教誨師連盟(任意団体)に委託して毎年開催を変えながら全国八か所の地方において能力開発のための研修を行う。

また、教誨師研修会に参加できなかった教誨師等に対しても同様の知識等の吸収を可能ならしめるため、教誨師中央研修会の状況を記録した機関紙「教誨」及び地方研修会を含めた記録

を電子化した研修会記録CDを毎年一回、当連盟の活動状況及び主な教宗団における教誨師の研修状況等を記載した機関紙「教誨師連盟だより」を年二回発行し、全ての教誨師、矯正施設、並びに多くの教宗団、その他に無料で頒布する。平成二四年度から、教誨活動に資するための「教誨マニュアル」を作成するための準備委員会を立ち上げた。

1 第五〇回教誨師中央研修会

日 程 平成二七年九月二日(水)～四日(金)

(金)

場 所 東京都千代田区

参加予定人員 一一〇名

2 第五一回札幌矯正管区教誨師研修大会

日 程 平成二七年六月二四日(水)～二五日(木)

(木)

場 所 北海道帯広市

参加予定人員 一四〇名

3 第五七回仙台矯正管区教誨師研修岩手大会

日 程 平成二七年一〇月一五日(木)～一六日(金)

(金)

場 所 岩手県盛岡市

参加予定人員 一九五名

4 第五九回東京矯正管区教誨師研修埼玉大会

日 程 平成二七年六月一八日(木)～一九日(金)

(金)

場 所 埼玉県さいたま市浦和区

参加予定人員 三七〇名

5 第五九回名古屋矯正管区教誨師研修大会(福井大会)

参加予定人員 三七〇名

日 程	場 所	参加予定人員	費用総額
平成二七年六月一日(木)～二日(金)	福井県福井市	一九二名	二、一六〇、〇〇〇円
平成二七年十一月一九日(木)	大阪府大阪市中央区	一六〇名	七〇〇、〇〇〇円
平成二七年六月二五日(木)	広島県広島市南区	一七〇名	一八、九八七、〇〇〇円
平成二七年七月七日(火)～八日(水)	高知県南国市	七五名	三、七〇〇、〇〇〇円
平成二七年一〇月二七日(火)～二八日(水)	長崎県佐世保市	一九五名	二、一六〇、〇〇〇円

費用総額

一八、九八七、〇〇〇円

補助金等収入

三、七〇〇、〇〇〇円

「教誨」誌	費用総額
「教誨師連盟だより」	一、五五〇、〇〇〇円
「教誨マニュアル」作成準備委員会	一五〇、〇〇〇円
費用総額	八〇〇、〇〇〇円
費用総額	二二五、〇〇〇円

二 教誨師顕彰等事業

長年多数回にわたり教誨活動に従事している教誨師を顕彰し、当人はもとより他の教誨師にも励みとなり、更に教誨活動に精励するよう鼓舞するとともに、矯正施設においてボランティアとしての教誨活動が被收容者等の改善更生への一助となっていることを広く社会に発信する事業。

費用総額

三九六、〇〇〇円

三 教誨活動等に関する情報収集等事業

より有意義な研修を計画し、また教誨師としてより有為な宗教家を推薦してもらうため、教誨師研修や教誨師選任に関して、教宗団代表者から情報を得、また関連事項の調整、並びに教誨活動の活発化等のための提言事業。

教宗団の本部が集中している京都と東京で、情報交換等の協議会を行う。

費用総額

七二五、〇〇〇円

法務省矯正局との意見交換会

費用総額

三〇〇、〇〇〇円

四 教誨師選任事業

憲法の規定により国自体の宗教活動が禁止されていることから、教誨活動を行う教誨師を選ぶために、国は自ら宗教家と接触することができない。

国に代わり、全国の矯正施設が必要とする教誨師を選任するため関係する宗教団体と協議して有能な宗教家を推薦してもらい、あるいは教誨師を希望する宗教家に対してその資格を審査し、適切な矯正施設へ紹介する事業。ちなみに現在一、八七〇名の教誨師を擁し、その所属する教宗団は一〇〇を超えている。また、毎年一〇〇名近くの宗教家を新たに教誨師として委嘱している。

教誨師の選任が公正に行われていることを証するため、矯正施設別の所属教誨師名を記載した教誨師名簿を二年に一回発行し、全ての教誨師、矯正施設、並びに多くの教宗団、その他に無料で頒布している。

教誨師選任

費用総額

(減価償却費一、二四、一三九円は含まない。)

「全国教誨師会員名簿」

費用総額

一、二五〇、〇〇〇円

共通経費

事業に要する費用額合計

二七、〇六九、〇〇〇円

○借入れによる資金調達及び設備投資の予定はない。

平成27年3月31日現在 (単位:円)

貸借対照表

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産	17,612,447	17,626,254	-13,807
2. 固定資産			
(1)基本財産	118,843,548	118,976,241	-132,693
(2)特定資産	10,495,000	11,015,000	-520,000
(3)その他固定資産	124,239	259,773	-135,534
固定資産合計	129,462,787	130,251,014	-788,227
資産合計	147,075,234	147,877,268	-802,034
II 負債の部			
1. 流動負債	143,488	136,200	7,288
2. 固定負債	2,495,000	3,015,000	-520,000
負債合計	2,638,488	3,151,200	-512,712
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	115,038,472	115,169,852	-131,380
(うち基本財産への充当額)	(115,038,472)	(115,169,852)	-(131,380)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	29,398,274	29,556,216	-157,942
(うち基本財産への充当額)	(3,805,076)	(3,806,389)	-(1,313)
(うち特定資産への充当額)	(8,000,000)	(8,000,000)	(0)
正味財産合計	144,436,746	144,726,068	-289,322
負債及び正味財産合計	147,075,234	147,877,268	-802,034

平成27年3月31日現在 (単位:円)

財産目録

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	159,130
預金	普通預金	運転資金として	17,430,957
郵便振替	ゆうちょ銀行新井支店	運転資金として	22,360
流動資産合計			17,612,447
(固定資産)			
基本財産	投資有価証券	第45回変動利付国債(15年)他	118,843,548
特定資産	定額預金	中野新井郵便局	2,495,000
	定期預金	三井住友銀行中野支店	5,000,000
	定期預金	三井住友銀行中野支店	3,000,000
その他固定資産	什器備品	カードプリンタ	124,239
固定資産合計			129,462,787
資産合計			147,075,234
(流動負債)			
未払金	社会保険庁に対する未払金	雇用者負担分社会保険料	72,134
預り金	社会保険庁に対する支払い分	本人負担分社会保険料	71,354
流動負債合計			143,488
(固定負債)			
退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員2名に対する退職金の支払いに備えたもの	2,495,000
固定負債合計			2,495,000
負債合計			2,638,488
正味財産			144,436,746

平成26年度正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	平成26年度計	平成25年度	増減
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	412,252	274,835	687,087	799,737	-112,650
受取会費	5,580,000	3,720,000	9,300,000	9,285,000	15,000
受取補助金等	3,666,000	0	3,666,000	4,205,000	-539,000
受取寄付金	16,494,000	10,996,000	27,490,000	26,039,000	1,451,000
雑収益	1,227,000	341,357	1,568,357	4,552,594	-2,984,237
経常収益計	27,379,252	15,332,192	42,711,444	44,881,331	-2,169,887
(2) 経常費用					
給料手当	4,600,128	3,066,752	7,666,880	7,443,151	223,729
退職給付費用	298,800	199,200	498,000	462,000	36,000
法定福利費	646,444	430,963	1,077,407	982,760	94,647
地方研修委託費	18,013,260	0	18,013,260	15,775,500	2,237,760
旅費交通費	3,119,063	4,293,170	7,412,233	6,685,120	727,113
通信運搬費	831,752	179,457	1,011,209	820,607	190,602
消耗什器備品費	0	0	0	28,497	-28,497
減価償却費	135,534	0	135,534	135,534	0
消耗品費	82,888	41,498	124,386	214,081	-89,695
印刷製本費	1,896,681	161,352	2,058,033	3,041,613	-983,580
役務費	301,590	244,200	545,790	485,887	59,903
会議費	808,409	658,003	1,466,412	1,749,238	-282,826
顕彰費	159,023		159,023	262,649	-103,626
慶弔儀礼費	275,176	116,068	391,244	221,032	170,212
賃借料	409,251	170,154	579,405	67,416	511,989
諸謝金	278,192	0	278,192	467,756	-189,564
租税公課	3,500	600	4,100	3,050	1,050
顧問報酬		1,058,400	1,058,400	1,029,000	29,400
支払手数料	13,552	28,479	42,031	43,706	-1,675
諸会費		66,402	66,402	15,500	50,902
事務費	62,595	41,730	104,325	183,545	-79,220
雑費	177,120	0	177,120	172,200	4,920
経常費用計	32,112,958	10,756,428	42,869,386	40,289,842	2,579,544
当期経常増減額	-4,733,706	4,575,764	-157,942	4,591,489	-4,749,431
2. 経常外増減の部			0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-4,733,706	4,575,764	-157,942	4,591,489	-4,749,431
一般正味財産期首残高	4,543,317	25,012,899	29,556,216	24,964,727	4,591,489
一般正味財産期末残高	-190,389	29,588,663	29,398,274	29,556,216	-157,942
II 指定正味財産増減の部					0
指定正味財産増加額	328,023	218,682	546,705	659,355	
一般正味財産への振替額	406,851	271,234	678,085	790,735	
当期指定正味財産増減額	-78,828	-52,552	-131,380	-131,380	0
指定正味財産期首残高	69,101,911	46,067,941	115,169,852	115,301,232	-131,380
指定正味財産期末残高	69,023,083	46,015,389	115,038,472	115,169,852	-131,380
III 正味財産期末残高	68,832,694	75,604,052	144,436,746	144,726,068	-289,322

平成27年度正味財産増減予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで (単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	平成27年度計	平成26年度	増減
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	420,000	280,000	700,000	900,000	-200,000
受取会費	5,580,000	3,720,000	9,300,000	9,300,000	0
受取補助金等	3,700,000	0	3,700,000	3,400,000	300,000
受取寄付金	15,720,000	10,480,000	26,200,000	26,200,000	0
雑収益	1,350,000	204,000	1,554,000	3,144,000	-1,590,000
経常収益計	26,770,000	14,684,000	41,454,000	42,944,000	-1,490,000
(2) 経常費用					
給料手当	4,200,000	2,800,000	7,000,000	7,800,000	-800,000
退職給付費用	291,000	194,000	485,000	485,000	0
法定福利費	540,000	360,000	900,000	1,050,000	-150,000
地方研修委託費	17,500,000		17,500,000	16,000,000	1,500,000
旅費交通費	3,210,000	4,150,000	7,360,000	8,180,000	-820,000
通信運搬費	910,000	200,000	1,110,000	920,000	190,000
消耗什器備品費	0	50,000	50,000	50,000	0
減価償却費	124,239		124,239	135,534	-11,295
消耗品費	60,000	100,000	160,000	190,000	-30,000
印刷製本費	3,040,000	1,520,000	4,560,000	3,520,000	1,040,000
役務費	370,000	350,000	720,000	570,000	150,000
会議費	800,000	1,065,000	1,865,000	1,675,000	190,000
顕彰費	200,000		200,000	200,000	0
慶弔儀礼費	150,000	120,000	270,000	225,000	45,000
賃借料	50,000	150,000	200,000	68,000	132,000
諸謝金	500,000		500,000	500,000	0
租税公課	4,000	1,000	5,000	5,000	0
顧問報酬		1,059,000	1,059,000	1,029,000	30,000
支払手数料	15,000	35,000	50,000	40,000	10,000
諸会費		20,000	20,000	10,000	10,000
事務費	80,000	100,000	180,000	230,000	-50,000
雑費	180,000	30,000	210,000	175,000	35,000
経常費用計	27,193,239	8,950,000	36,143,239	33,722,534	2,420,705
当期経常増減額	-423,239	5,734,000	5,310,761	9,221,466	-3,910,705
2. 経常外増減の部					0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-5,454,239	2,380,000	-3,074,239	-113,534	-2,960,705
一般正味財産期首残高	1,550,433	27,892,249	29,442,682	29,556,216	-113,534
一般正味財産期末残高	-3,903,806	30,272,249	26,368,443	29,442,682	-3,074,239
II 指定正味財産増減の部					0
指定正味財産増加額			0		
一般正味財産への振替額			0		
当期指定正味財産増減額	-78,828	-52,552	-131,380	-131,380	0
指定正味財産期首残高	69,023,083	46,015,389	115,038,472	115,169,852	-131,380
指定正味財産期末残高	68,944,255	45,962,837	114,907,092	115,038,472	-131,380
III 正味財産期末残高	65,040,449	76,235,086	141,275,535	144,481,154	-3,205,619

✿ 公益財団法人JKAの公益資金補助事業

一 平成二六年度の競輪公益資金による補助事業は、平成二七年一月八日、地方研修担当事務局に次のとおり送金しました。

札幌管区	五三三、二八〇円
仙台管区	四二二、五二〇円
東京管区	六一四、七一六円
名古屋管区	四一九、〇三〇円
広島管区	四二五、六二二円
高松管区	一六二、八三六円
福岡管区	四九五、七五六円
中 央	二九三、二四〇円
総 額	三、三六六、〇〇〇円

二 平成二七年度の競輪公益資金による補助事業総額を二九、五七七、〇〇〇円とし、その半額の一四、七八八、〇〇〇円の補助を申請しましたが、本年六月一日付けで補助金総額三、三六四、〇〇〇円の決定通知書の送達がありました。

札幌管区	三一五、〇〇〇円
仙台管区	三〇一、〇〇〇円
東京管区	八五四、〇〇〇円
名古屋管区	四一〇、〇〇〇円
広島管区	四四〇、〇〇〇円
高松管区	二一六、〇〇〇円
福岡管区	五七八、〇〇〇円
中 央	二五〇、〇〇〇円
総 額	三、三六四、〇〇〇円

三 補助事業として研修会を実施する担当事務局は、証拠書類処理については「平成二七年五月三〇日付補助事業研修会支出証拠書類及び研修会事務処理方法について」、「補助事業実施に関する事務手続要領」を参考にしてください。残余の金額は全て減額処理されますので注意してください。

四 公益財団法人JKAに報告書を提出するため、研修会終了後は速やかに実施報告書を提出してください。

研修会実施証拠写真は全て、画面隅に撮影年月日が写り込むように設定したデジタルカメラで撮影し、データはCD又は電子メールに添付して送付してください。

五 決算書（証拠書類等）は研修大会終了後速やかに処理し、早めに提出してください。JKAへの精算払い申請が遅れますと、JKAから遅延理由書の提出を求められ、研修開催地への補助金の送金にも影響が出ます。

六 平成二八年度の補助金要望書については、各管区連盟を通じて関係書類の提出を依頼しました。（提出期限 平成二七年八月一四日）

競輪公益資金による

補助事業完了のお知らせ

この度平成二六年度の競輪公益資金の補助金を受けて、次の事業を完了いたしました。

記

- 1 事業名
平成二六年度地域社会の安全・安心に資する活動補助事業
- 2 事業の内容
ア 教誨師中央研修会
イ 教誨師地方研修会（全国七か所）
- 3 補助金額 三、三六六、〇〇〇円
- 4 完了年月日 平成二六年一月二〇日

あとがき

はじめまして、本年四月から前任者の仲澤主事に代わって事務局を担当させていただくことになりました佐藤均と申します。本年三月まで、少年院などの少年施設で勤務しており、教誨師の方々にはいろいろとお世話になりました。縁がありまして現在の仕事を務めることとなり、これからは、今までと異なった形で教誨師の方々のお力添えができればと思っております。至らぬところも多々あり、ご迷惑をお掛けすることもあろうかと思いますが、現在の仕事を早く覚え、少しでも全国教誨師連盟の方々のお役に立てることができるよう、仕事に専念する所存でございますので、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

（事務局 佐藤）

